

院内助産システムの推進 3 カ年計画

長期目標：安心・安全な出産環境を実現する。

下位目標：1) 院内助産システムに関する用語、要件、支援体制等が整備される。

2) 院内助産システムについて、医療関係職及びサービス利用者に普及・啓発される。

3) 政策提言が院内助産システムの推進にかかわる国の政策や予算確保に反映される。

指 標：1) 助産外来・院内助産・院内助産所の実践施設数の増加 ※数値目標は平成 20 年度病院における看護職員の需給調査結果等から平成 21 年度に設定予定

2) シンポジウム・研修への参加者数（人数・背景）

3) 利用者（妊産婦）の認知や要望に関わる調査結果

事業計画：

年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	
事業内容	プロジェクト	諮問事項：助産センターの設置推進に向けた検討 ①院内助産システムに関する検討 ②助産師活動に関する用語の定義の検討 ・医療関係者の共通理解に基づいた用語の定義 * 答申提出	諮問事項：院内助産システム推進に向けた検討 ①助産外来・院内助産の実践に向けた研修プログラムの検討（研修は平成 22 年度より実施） ②助産師の必要数に関する検討（助産師職能委員会との連携） ③院内助産システムの普及・課題等に関する調査の検討	諮問事項：院内助産システムの推進に向けた検討 ①院内助産システム推進の 3 カ年評価と今後の課題について検討 * 答申提出
	助産師職能委員会	①助産師の質向上のための「医療機関における助産ケアの質評価（第 2 版）」の普及 ・医療機関に勤務する助産師の助産ケア実態調査 ②助産師外来の機能評価に関する検討 ・実施施設へのヒアリング実施	①院内助産システムの普及推進 ②助産師必要数の検討 ③助産師のキャリアパス／ラダーの検討	①院内助産システムの推進
	調査	①実践施設の助産師・看護管理者へのヒアリング ・助産師が自立して助産ケアを行う体制について ②利用者（妊産婦）の意見収集 ③平成 20 年度病院における看護職員需給状況等調査による助産師活動の実態把握（院内助産・助産師外来の実践施設数等） ※①②はプロジェクトで実施	①利用者（妊産婦）の認知や要望に関する実態把握 ・妊産婦対象の雑誌の Web サイトが実施する Web 調査との連携 ②院内助産システムの普及・課題等に関する調査 ・全国の病院で診療科目に産婦人科・産科を有する病院の看護管理者を対象とし、院内助産システムに病院組織として取り組む意向や課題や施策への要望等を把握する。	①平成 22 年度病院需給調査による助産師活動の実態把握（助産外来・院内助産の実践施設数等の比較）
	普及・政策提言	①院内助産システム推進フォーラムの開催 ②情報提供・収集 ・協会ニュース（特集）へ実践施設の事例を掲載 ・都道府県看護協会への情報提供と連携、関連団体・学会等との連携 ③助産師の業務・確保等に関する政策提言	①院内助産システム推進フォーラムの開催 ②情報収集・情報提供 ・実践施設の事例等を協会ニュース、公式 HP に掲載 ・都道府県看護協会への情報提供と連携、関連団体・学会等との連携 ③助産師の業務・確保等に関する政策提言	①院内助産システム推進フォーラムの開催 ②情報提供・収集 ・実践施設の事例等を協会ニュース、公式 HP に掲載 ・都道府県看護協会への情報提供と連携、関連団体・学会等との連携 ③助産師の業務・確保等に関する政策提言
	研修	①神戸研修センター ・「安全な分娩介助と院内助産の取り組み（2 日）」	①看護教育研究センター・神戸研修センター ・助産師及び看護管理者に向けた研修の実施	①看護教育研究センター・神戸研修センター ・助産外来・院内助産の実践に向けた研修